



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月29日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東証・名証第一部
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部財務部長 (氏名) 北山 聡 (TEL) (0587) 37-2111
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年3月21日～平成26年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	46,954	1.3	838	△33.8	873	△25.3	107	△81.1
26年3月期第3四半期	46,335	4.5	1,266	5.4	1,168	22.0	570	105.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △39百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 1,113百万円 (114.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	3 07	—
26年3月期第3四半期	16 28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	73,899	19,817	23.3	492 52
26年3月期	72,438	20,083	24.2	499 80

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 17,248百万円 26年3月期 17,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3 00	3 00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年3月21日～平成27年3月20日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	2.5	350	△65.6	50	△93.4	0	△100.0	0 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	36,295,543株	26年3月期	36,295,543株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,274,233株	26年3月期	1,268,973株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	35,024,330株	26年3月期3Q	35,030,333株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関連する事項は〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用情勢の改善がみられました。一方で、円安による原燃料を始めとする輸入諸資材価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは今後も厳しい経営環境にあることを認識し、当期を2年目とする3ヶ年計画として、「石塚硝子グループ中期経営計画」（勝ち残るために～ISHIZUKA '81）の達成に向け、『経営基盤の強化』に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、びん・紙容器の売上が減少したものの、PETボトル用プリフォームが順調に伸長し、グループ全体の売上高は46,954百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。利益につきましては、LNG・電力価格の高止まりや、輸入諸資材価格の高騰、さらには販売価格是正の遅れもあり、営業利益は838百万円（前年同四半期比33.8%減）、経常利益は873百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。また、平成26年10月22日開催の取締役会において、連結子会社である亞德利玻璃（珠海）有限公司及び石塚玻璃（香港）有限公司は、人件費の上昇や円安の進行など、現在の厳しい経営環境のなか事業継続は困難であると判断し、同2社を解散することを決議いたしました。その結果、同2社の保有する固定資産の減損損失等の関係会社整理損1,691百万円を特別損失として計上いたしました。一方、財務体質の改善及び資産の効率化を図るため株式を売却し、投資有価証券売却益1,455百万円を特別利益として計上した結果、四半期純利益は107百万円（前年同四半期比81.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ガラスびん関連

ガラスびんは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動と夏場の天候不順からビールびんや飲料水びんの出荷が落ち込み、売上高は14,599百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

②ハウスウェア関連

ハウスウェアは、中東向けの輸出が再開し出荷を伸ばしたほか、企業向け大口景品の受注を獲得し、売上高は6,978百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

③紙容器関連

紙容器は、積極的な拡販活動により新規受注の獲得があったものの、既存ユーザーへの売上が伸び悩み、売上高は6,088万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

④プラスチック容器関連

プラスチック容器は、大手ユーザーからの新製品向けPETボトル用プリフォーム受注と新規顧客の獲得などにより、売上高は16,567百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

⑤その他

抗菌剤は新規海外顧客の獲得など販路を順調に拡大することができ、さらに円安を背景に北米向けの出荷も伸長しました。また、金属キャップ等の出荷も増加し、売上高は2,720百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期における通期業績予想につきましては、平成26年10月22日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、北洋硝子株式会社は重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、遠東石塚グリーンペット株式会社は重要性が増加したため、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 追加情報

重要な引当金の計上基準

関係会社整理損失引当金

関係会社の整理に伴い発生が見込まれる損失に備えるため、当該損失見込額を計上しております。

取得による企業結合

当社は、平成26年12月17日開催の取締役会において、鳴海製陶株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。また、同日付で同社の筆頭株主であるCITICグループと株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 鳴海製陶株式会社

事業の内容 陶磁器・産業器材の製造及び販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは「ガラスを究め、ガラスを超える」を経営ビジョンとして常に新製品、新技術の開発に挑戦し、事業領域を拡大してまいりました。現在ではガラスびん関連事業、ハウスウェア関連事業、紙容器関連事業、プラスチック容器関連事業及び機能性マテリアル等の製造販売事業の5事業を展開しております。今般、成長戦略の一環として鳴海製陶株式会社の全株式（自己株式を除く）を取得し、新たに第6の事業の柱を打ち立てることと致しました。

鳴海製陶株式会社はボンチャイナの量産化に国内で初めて成功した企業です。伝統ある“NARUMI”ブランドは“ナルミボンチャイナ”を主力製品として、高い認知度と品質への信頼感から、洋食器のトップブランドとして国内外で高い評価を得ています。また、超耐熱性結晶化ガラス「ネオセラム」を使用するIHクッキングヒーター向けトッププレート及びガスコンロ向けトッププレートはともに国内トップクラスのシェアを誇っております。

当社グループ及び鳴海製陶株式会社は、本件を通じて両社が持つ経営資源を結集することでシナジー効果を生み出し、両社の企業価値向上を目指してまいります。

(3) 企業結合日

平成27年2月中（予定）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有する議決権比率 ー%

取得後の議決権比率 100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得するためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び発生するのれんの金額等

現時点では確定しておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,534	2,312
受取手形及び売掛金	10,421	12,887
有価証券	100	100
商品及び製品	11,353	11,417
仕掛品	283	287
原材料及び貯蔵品	3,556	3,960
その他	1,353	1,902
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	29,596	32,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,729	7,703
機械装置及び運搬具(純額)	9,490	8,333
土地	13,331	13,174
その他(純額)	4,116	4,428
有形固定資産合計	34,666	33,640
無形固定資産	34	32
投資その他の資産		
投資有価証券	6,895	6,116
その他	1,195	1,191
貸倒引当金	△37	△15
投資その他の資産合計	8,053	7,292
固定資産合計	42,754	40,966
繰延資産	87	70
資産合計	72,438	73,899

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,570	6,160
短期借入金	14,032	14,934
1年内償還予定の社債	1,743	3,809
未払法人税等	273	103
賞与引当金	510	239
関係会社整理損失引当金	—	81
その他	4,120	5,062
流動負債合計	26,251	30,390
固定負債		
社債	5,327	2,596
長期借入金	11,038	10,015
退職給付引当金	3,813	3,870
役員退職慰労引当金	26	27
汚染負荷量引当金	492	468
関係会社整理損失引当金	—	19
その他	5,404	6,692
固定負債合計	26,103	23,690
負債合計	52,355	54,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,911	5,911
資本剰余金	4,149	4,149
利益剰余金	903	886
自己株式	△285	△286
株主資本合計	10,678	10,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,805	1,817
繰延ヘッジ損益	△41	92
土地再評価差額金	4,919	4,919
為替換算調整勘定	144	△240
その他の包括利益累計額合計	6,827	6,587
少数株主持分	2,577	2,569
純資産合計	20,083	19,817
負債純資産合計	72,438	73,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年12月20日)
売上高	46,335	46,954
売上原価	38,580	39,520
売上総利益	7,755	7,434
販売費及び一般管理費	6,488	6,595
営業利益	1,266	838
営業外収益		
受取利息	6	11
受取配当金	102	108
受取賃貸料	115	110
為替差益	110	339
その他	69	70
営業外収益合計	404	639
営業外費用		
支払利息	355	364
持分法による投資損失	—	37
その他	146	201
営業外費用合計	501	604
経常利益	1,168	873
特別利益		
投資有価証券売却益	285	1,455
その他	—	89
特別利益合計	285	1,544
特別損失		
固定資産除却損	324	—
投資有価証券評価損	10	—
関係会社整理損	—	1,691
その他	—	122
特別損失合計	334	1,814
税金等調整前四半期純利益	1,119	603
法人税、住民税及び事業税	327	286
法人税等調整額	135	179
法人税等合計	462	466
少数株主損益調整前四半期純利益	656	137
少数株主利益	86	29
四半期純利益	570	107

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	656	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	501	65
繰延ヘッジ損益	△149	142
為替換算調整勘定	104	△385
その他の包括利益合計	456	△177
四半期包括利益	1,113	△39
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	952	△132
少数株主に係る四半期包括利益	161	92

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	ガラス びん関連	ハウスウ ェア関連	紙容器 関連	プラスチ ック容器 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,111	6,316	6,253	16,164	43,845	2,490	46,335	—	46,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	19	—	444	464	4,166	4,631	△4,631	—
計	15,111	6,335	6,253	16,609	44,310	6,657	50,967	△4,631	46,335
セグメント利益又は損 失(△)	282	△189	190	894	1,177	80	1,258	7	1,266

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円には、セグメント間取引消去0百万円、たな卸資産の調整額7百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至 平成26年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	ガラス びん関連	ハウスウ ェア関連	紙容器 関連	プラスチ ック容器 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,599	6,978	6,088	16,567	44,233	2,720	46,954	—	46,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	17	—	468	491	4,182	4,674	△4,674	—
計	14,605	6,995	6,088	17,035	44,725	6,903	51,628	△4,674	46,954
セグメント利益又は損 失(△)	97	△326	108	869	749	90	840	△1	838

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去0百万円、たな卸資産の調整額△1百万円、その他0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ハウスウェア関連」セグメントにおいて、連結子会社の解散を決議したことに伴い、所有している固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失を「関係会社整理損」に含めて特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,525百万円であります。